

銭函のお宝 撤去！

銭函のお宝と言えば、なんと言っても駅前のおブジェ名「炎」でしょう。

設置から 35 年経過して、全く修理の形跡がなく土台から海側に傾きかかって

放置すれば、オブジェ転倒事故に繋がりそうでありましたが、危険防止のため市は撤去いたしました。

その昔、明治 2 年開拓使佐賀藩士島義勇が函館から苦勞してやっとたどり着いたところが正しくこの場所で、北海道開拓の「炎」を挙げ「開拓使仮役所」をここ銭函に設置し、ここから本府札幌開拓に着手したのであります。銭函は明治政府の北海道開拓の発祥地と言えるのであります。

この史実に偶然に重なるように世界的に有名な金属彫刻家一原有徳氏がこのオブジェ名「炎」をこだま交通(株)様のご依頼によって銭函駅前に創作設置したものであり、現在は小樽市の公共財産でありました。

銭函の「顔」でありますこのオブジェ名「炎」が構築物の危険性から撤去されましたが、同時に芸術創作品としても価値があるものと思料されていることから、今後芸術的観点から傷みの状況や再設置に耐えられるどうか評価されることとなりました。